

## 伊豆箱根バス 中伊豆線の運行について

## 【経緯】

- ・6月 伊豆箱根バスより、ここ数年中伊豆線の欠損額が、国庫補助等を受けても年間 2,000 万円を超え、経営上の見直しが必要となり、「退出」を視野に入れた検討を進めたいの申し入れあり。
- ・7/26 第1回伊豆市公共交通会議において、伊豆箱根バスより退出を含めた見直しの意向表明。
- ・9月末 伊豆箱根バスより、県に退出に係る書類提出。
- ＊6月～11月末 伊豆箱根バスの減便案を基に、運行時間や通学への対応等について協議調整

## 【市民説明会の開催】

- ・12/18(火) 中伊豆支所、1/8(火) 八岳集会場、1/9(水) 上和田公会堂の3箇所で開催

## 【伊豆箱根バスの運行案】

- ・運行経費圧縮のために利用客の少ない筏場新田発着、姫之湯経由、入屋線の運行の取りやめ、1日あたりの車両台数の圧縮を行い、現行の運行本数を半減（57%）にした運行案。

## &lt;修善寺駅 → 筏場&gt;

平日（現行）23本 → （減便案）10本  
 土曜（現行）21本 → （減便案）7本  
 休日（現行）15本 → （減便案）6本

## &lt;筏場 → 修善寺駅&gt;

平日（現行）19本 → （減便案）10本  
 土曜（現行）18本 → （減便案）6本  
 休日（現行）14本 → （減便案）5本

## 【減便への対応】

## (1) 筏場線対応策

## ①小中学生の通学対応

- ・教育委員会を交え、小中学校への通学対応を検討し、現状に近い形で対応が可能となった。

※空白となる筏場新田発着及び姫之湯経由については、小中学生の利用者アンケートで家族の送迎等で対応が可能との回答あり。

## ②高校生の通学対応

- ・市民説明会において、最終の18時台以降に、21時台の1便追加の検討について説明したが、高校生の利用は21時台の便より、20時台の方が、利便性があるとの意見があり、最終便の18時台の後に20時台を追加。（最終の時間帯を18時台 → 20時台）

※19時台については、東海バスの19:15 修善寺駅発下尾野口行のバスで八幡までは乗車可能

## (2) 入屋線の対応

- ・現状の乗降調査では、小中学生の利用が無かったため、小中学生の利用者アンケートを行い、家族の送迎等で対応が可能との回答あり。

## (3) 日中の減便対応

- ・日中の減便に伴い、小中学生の特別日課への対応（10時台～13時台）として、教育委員会にて学バスでの対応を検討。